

平成30年度大阪府立和泉総合高等学校第1回学校運営協議会議事録

(1) 会議の日時及び場所

日時：平成30年7月13日（金）14：00～16：00

場所：本校 応接室

(2) 出席者の氏名（敬称略）

・委員

寺脇 久人（会長） 上條 藤夫（副会長） 一井 正次

森脇 隆行 下荒神 亜矢子

・学校・事務局

校長 事務部長 教頭 首席 教務部長 生徒指導部長 進路指導部長

(3) 議題

- ・学校経営計画について（H29年度評価、H30年度計画）
- ・エンパワメントスクール改編について
- ・進路状況について
- ・生徒の状況について
- ・教務関係について

(4) 協議内容

○安全で安心な学校生活を送れる学校づくりについて

（意見）

① 欠席・遅刻を減らし、進級者・卒業生を増やす手立てが必要である。

そのためには、学校行事・授業を充実させ、生徒が来たくなるようなものになるように頑張ってもらいたい。また、進級できるように、教務内規の検討も必要になってくる。それと少しでもよくなれば、生徒への評価をしてあげてほしい。評価することは、生徒の自己肯定感の育成のうえで大切なことである。

（また、生徒指導の校則等の見直しも必要だと、会議終了後に委員の方々からの助言もありました。）

② 施設の老朽化が進んでいます。エンパワメントスクールの改編でついた予算でエンパワメントルーム（アクティブラーニング室）ができ、エンパワメントタイムの授業で活用しています。今年度保育実習室も新たにできる予定です。この保育実習はこれからの本校の柱の一つとなります。また、PTAのご協力でテント3張寄贈していただき、体育館舞台の照明

装置も今後寄贈して頂くことも承諾済みです。体育祭・文化祭等で大いに活用したいと思っています。生徒たちのために、これからもPTAのご協力をお願いします。

○エンパワメントスクール改編・基礎学力育成について

(質問)

エンパワメントスクールとなって、入学者選抜方法も変更になったと思うが、生徒はどのように変わったか？

(回答)

アンケート調査によると、学校説明会などに参加して、学校の方針等を知って入学してきた生徒は、意欲が向上している。また、ルールを守る姿勢がある。反対に、中学校の先生等に勧められるままに入学してきた生徒はイメージと違うという不満が大きい。それらを踏まえて今年度の広報では、できるだけ多くの生徒に本校をわかってもらって受験してもらえることが課題だと考えています。

○自己肯定感の育成とキャリア教育の充実について

(意見)

入学した時から進路の話をして、将来の夢をもつことが3年間のキャリア教育につながっていくので、3年次になってからやっと進路指導というのではなく1年次からの進路指導が大切である。

○非常災害にかかる休校等について

(意見)

6月から大地震・大雨等が続いているが、警報がでる前に学校としての措置をもっと早く決定できないか？もう少したてば、警報が出そうという時間帯と通学時間帯がかさなれば、親としては非常に不安である。

(回答)

学校は内規に従い、臨時休校等を判断しています。必要な授業時数もあるので、1年間トータルで考えて判断する必要があります。また、臨時休校等の判断の連絡については、メールで保護者に連絡していますが、そのメール登録をされている保護者が半分弱なので、登録する機会を増やしていきたいと考えています。

(7月のメール便にてメール登録を案内しました。)

(5) 議決事項

- ・平成30年度学校経営計画（めざす学校像、中期的目標）を承認
- ・全日制 学校運営協議会 7月13日実施
定時制の平成30年度学校経営計画（めざす学校像、中期的目標）を承認
- （・定時制 学校運営協議会 6月8日実施
全日制の平成30年度学校経営計画（めざす学校像、中期的目標）を承認）